

～調べよう！大雨と防災～ わたしたちの自由研究

解説資料



毎年6月から10月にかけては、梅雨や秋雨前線、台風などにより、雨が多い時期となります。京都府でもこれまで、台風や豪雨による水害で尊い命や多くの財産が失われるなどの大きな被害が発生しています。

平成16年の台風第23号による京都府北中部での大きな被害は記憶に新しいところです。また、近年、地球温暖化の影響とも言われる集中豪雨が増加傾向にあり、平成20年には1時間に50mmを超す集中豪雨が日本各地でありました。自然の猛威はいつ私たちに襲いかかってくるか、予断を許さない状況です。

未来を担う子どもたちに、水害に備える防災意識を高めてもらうきっかけになればと、このDVDを作成しました。この解説資料がその内容を補完し、学習の一助となれば幸いです。



台風第23号災害 由良川のはん濫(福知山市)



土石流による被害(宮津市滝馬)

あ ら す じ

主人公の二人が、京都府を襲った台風第23号のことを学校で知り、被害が大きかった宮津市に出かける。大手川や滝馬地区で河川の被害、土砂災害について学習する。

そして、防災訓練に参加してみることで、日頃から災害について考え、備えることが大切であることを学ぶ。(約15分)



住民が参加する
総合防災訓練



子どもたちも積極的に体験